

## 今、輝いている人

(特)茅野市スポーツ協会ではスポーツを前向きに頑張っている方の貴重な体験談と熱い感動をお伝えします。

### ハンドボール競技を通して

茅野市ハンドボール協会 長坂 直樹

5年前に茅野市スポーツ協会に所属していただけるようになり、茅野市ハンドボール協会が発足しました。また、昨年度から茅野市スポーツ協会の皆様のご尽力により、茅野市総合体育館を一般・高校生が使えるようになり、活動の輪が広がっています。そのおかげで、今では「茅野市総合体育大会ハンドボール競技大会」も行うようになり、小学生から社会人まで多くの方にご参加いただきハンドボールを通して交流が広がっています。

茅野市には、小学生ハンドボール教室、東部中学校、長峰中学校、茅野高校、東海大学附属諏訪高校にそれぞれハンドボール部があり、社会人もOBが集まり活動しています。

日本ではまだまだマイナーなスポーツですが、走る、投げる、跳ぶという運動の三大要素が詰まっている競技です。1チーム7人の選手で構成され、選手の交代は自由で、ダイナミックなシュートや速いパス、多様な戦術、ゴールキーパーのピックセーブなど魅力の多いスポーツです。

学校の部活動やクラブチーム数から見て長野県内では千曲市に続いてハンドボールが盛んな地域といえます。学校での部活動が縮小方向にあり、今後ますます地域でのスポーツ活動の重要性を感じています。茅野地域におけるハンドボール競技の活性化を目指していきたいと思えます。



### 茅野市スポーツ少年団の取組み

茅野市スポーツ少年団本部長 鷹野 鉄也

茅野市スポーツ少年団本部長の鷹野鉄也と申します。所属単位団は茅野市少林寺拳法協会です。よろしくお願いたします。

茅野市スポーツ少年団は、昭和63年に当時の長野県内17市中16番目に設立されました。現在は9種目15単位団に約400名の団員が登録され活動しています。

日本スポーツ少年団の理念は、

- ・一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する
- ・スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる
- ・スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

であり、全国では70万人、長野県内では15,000人の仲間が様々な種目で競技に取り組んでいます。

茅野市スポーツ少年団としての年間スケジュールは、4月に結団式を行ない、それぞれの団員が1年間の目標を目標達成シートに定め、翌年の2月に年間を総括する修了式を行います。

それぞれの単位団の活動内容は、日々の練習の他、南信地区大会、県大会、北信越大会、全国大会等たくさんの大会があり、茅野市スポーツ少年団の選手は毎年優秀な成績を収めています。選手の頑張りはもちろんですが、それを支える保護者の方、指導員の方々のご協力が有ったことであり、選手の方々には感謝の気持ちを持って大会等に臨んでもらいたいと思えます。

子供の早い段階でスポーツに親しむことは、心身を鍛えると共に社会での秩序を学ぶことが出来る貴重な経験です。指導者は、強く優しく、そして頼もしい選手を育てたいという思いで指導しています。結団式で配布する目標達成シートでは、5年後10年後の目標も立ててもらい、様々な種目の中から、将来のオリンピック選手やスポーツの指導者が輩出されることを祈っています。

我々スポーツ少年団役員、保護者、指導者の責務は、スポーツ少年団に所属する団員たちが、楽しく、安全に何の心配もなくスポーツを行うことであり、そのためには茅野市及び茅野市教育委員会を始め多くの皆さまのご協力が必要です。そして活気あるスポーツ少年団活動を行なうためには、多くの仲間が必要となるため、新規団員を年間を通して募集しておりますので、詳しい内容は茅野市スポーツ協会にお問い合わせください。

最後になりますが、茅野市民の皆さま方に於かれましては、次代を担うスポーツ少年団員に激励、ご声援を賜りますようお願いを申し上げ、茅野市スポーツ少年団本部長のご挨拶とさせていただきます。



### 中学校中学校最後の大会に向けて

茅野ジュニアバドミントンクラブ 山口 煌生

僕は、中学校に入学するにあたり、部活動の選択をしなければなりません。

小学校の頃、スポーツを何もやって来なかった僕は、バドミントンの桃田選手や奥原選手などの活躍を見て、カッコいいな、僕もあんな風にバドミントンが出来たら良いなと思い、バドミントンクラブに入部する事にしました。

人前で緊張してしまう性格なので、1年生の最初の大会では、いざ試合が始まると頭の中が真っ白になってしまい、練習の成果どころでは無い苦い経験をしました。

その後の3年間は、クラブの監督やコーチの指導の下、先輩や後輩と共に練習に励んできました。そして、中学最後の大会に向けて頑張ってきましたが、感染症蔓延の為に中止になってしまい残念に思っていました。しかし、各関係者の皆様のご尽力で、8月に代替大会を開催出来ることになりました。

最後の大会では、今までの練習の成果を十分に発揮し、支えてくれた人達への恩返しのも気持ちも込めて、悔いが残らない大会にしたいと思います。



### 私と少林寺拳法

茅野市少林寺拳法協会理事長 堀田 通智

私と少林寺拳法の出逢いは、「広報ちの」の初心者少林寺拳法教室の募集からでした。格闘技には興味があったのですが、なかなか一步を踏み出すことが出来ずにいたところ、初心者という言葉が目に入り職場の仲間と体験することになりました。

あれから約30年が経過し、少林寺拳法と一緒に始めた職場の仲間も私一人となりました。現在は四段を取得し、そして四段以上が対象となる審判員の資格も取得しました。スポーツ少年団等の大会では審判員を依頼され、福井県や山梨県など遠方に出張することもあります。審判を行うには自分自身が少林寺拳法の技に精通していなければならないと、少林寺拳法の修行自体はまだまだ続けていかなければならないと感じています。

少林寺拳法は、やればやるほど奥が深く、いつも新しいことに挑戦しなくてはなりません。少林寺拳法を始めた頃の思いを忘れることなく、いつまでも謙虚に愚直に修行に励んでいきたいと思えます。

